

いいもの成らせるさくらんぼ便り

Vol.7 疲れた樹に栄養と水分を！病害虫防除も忘れずに！

高温が続いています！収穫後、速やかに樹に水分補給を！
熱中症には十分注意！作業中は必ず水分補給と休憩を！！

【来年のために花芽を充実させましょう！】

- ①速やかに雨除け資材を撤去し、土壤水分を確保する
- ②礼肥を施用し、樹体を回復させる
- ③適期に防除を行い、葉を健全に保つ



すでに花芽分化は始まっています！

1 礼肥の施用

基準 年間施肥量：窒素成分で 15 kg/10a 程度
 礼肥の割合：年間施肥量の 20～50% (3.0～7.5 kg/10a)

- ◎ 着果量が多かった園地や樹では、礼肥の割合を多めにする
- ◎ 「紅秀峰」は、今年特に着果量が多かったところは多めに施肥！

生育状況	礼肥のやり方
<ul style="list-style-type: none"> ・樹勢が弱い ・着果量が多かった ・地力が低い 	<ul style="list-style-type: none"> ・礼肥の割合を増やす (年間施肥量の 50～100%) ※着果が多かった「紅秀峰」は特に ・できるだけ早く施用する
<ul style="list-style-type: none"> ・適正樹勢 	<ul style="list-style-type: none"> ・基準の割合で施用する (年間施肥量の 20～50%)
<ul style="list-style-type: none"> ・樹勢が強い ・着果量が少なかった ・地力が高い 	<ul style="list-style-type: none"> ・礼肥の割合を減らす (年間施肥量の 0～20%) ・新梢の伸びが止まってから施用する

※砂質土壌等、肥料持ちが悪い園地は7月と8月に分けて施用
 ※礼肥の割合が50%以上の場合、緩効性肥料も加える (例：速効性 50%+緩効性 50%)

【速やかに効かせるために】

- ・礼肥は速効性肥料を中心に
- ・施肥後に降雨がなければ灌水 (20～30t/10a)

2 今後の防除 (収穫後も抜かりなく！)

(1) ハダニ類

・丁寧にムラなく散布

※例年多い部分は重点的に

・散布は草刈り3日後に実施

※高温乾燥時は、頻繁な草刈りを避ける

今年は高温なので注意！



褐色せん孔病

葉を健全に保ちましょう！

(2) 褐色せん孔病

・収穫直後から2週間間隔で、3回以上防除を行う